



2026.1.16

瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

### 楽しい時間はあつという間に・・・

大変ご挨拶が遅くなりましたが、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。7日の始業式にお子さんの元気な姿を拝見し、冬休み中事故もなく無事に過ごせたことを嬉しく思いました。

昨年末からの年末年始の休暇の日数が、なんと9日間（お休みではなかった方はごめんなさい！）という長い期間でした。でもいつも感じることですが、楽しい時間はどうしてあつという間にすぎてしまうんでしょう。きっと多くの方も同じ思いをされているのでは？と思います。

AINSHUTAINがこんな言葉を残しています。『熱いストーブの上に手を置くと1分が1時間に感じられる。でも、きれいな女の子と座っていると、1時間が1分に感じられる。それが、相対性理論です。』と。有名な学者でも凡人でも時間の経過の感じ方は同じようです。私も正式な仕事始めは5日だったのですが、朝起きた時に「身体や心が重い～！」とだるさを感じていました。今思えば、健康状態は変わらなかったと思いますが、年始からの4日間は「楽しい！楽しい！」で、朝も早く目も覚めていたのに、なぜか仕事となると、身体が重いと感じる。これは明らかに精神的なものだと思います。

自分の好きなことをしている時間はあつという間に過ぎていきますが、つまらない作業をしている時は時間が過ぎていかないような気がする。ということは、時間の感じ方が心理状態によって変化することになります。自分の気持ちの持ちようで時間をある程度コントロールできるのかもしれないなら、つまらない作業でも何か楽しいことを発見して、「楽しい！」と思いながら取り組めば早くすむし、自分の気持ちも軽くなります。どんな時も気持ちを切り替えて、楽しいと思いながら毎日を過ごせば、仕事も遊びも「あつという間に過ぎていく」かもしれませんね。

### 成人式に参加して

毎年、公職者として地元の成人式に参加させていただきます。卒園児の皆さんも、きっと会場内に見えるんだろうなと思うと、ご家族の皆様と同じ喜びを感じています。今、幼稚園に通っているお子さんたちも成長し、やがて成人を迎えることを思うと、集団生活の第1歩である幼稚園の責任の重さを痛感します。どのお子さんにも伸びる可能性があり、それを教育の現場でどのように温かく見守っていくかが我々の重要な役目です。先日、ある方からこんなお話を伺いました。

そのお子さんは小学校時代、特別支援学級に通っていたそうです。中学校に進学した時に、お父様から普通学級に行くように言われ、普通学級に入りました。やはりいじめを受けたり、授業についていくことができず不登校になりましたが、お母様は毎日励まし、根気よくお子さんを送り出しました。そのうち、クラスにお友だちが出来、その友達に誘われ弓道部に入って学校生活が楽しくなり、一生懸命部活に打ち込む日々でした。部活動での頑張りで高校に進学することができ、継続して部活を頑張っ



ていたところ、その熱心さが認められ副部長に抜擢されたのです。大会での成績はイマイチで、なかなか結果を残すことが出来ませんでした。必死で練習を積み重ね、最後の大会で素晴らしい成績を残し、これまで優勝したことのない学校が優勝に輝きました。その努力を部活の先生が認めてくれて、推薦枠が1人しかない大学に推薦してもらい、大学生となりました。その話を聞いた小学校の担任の先生は泣いて喜ばれたそうです。

一人ひとりが持っている能力を見つけ出し、伸ばしてあげられる教育現場であるよう努力していきます。

